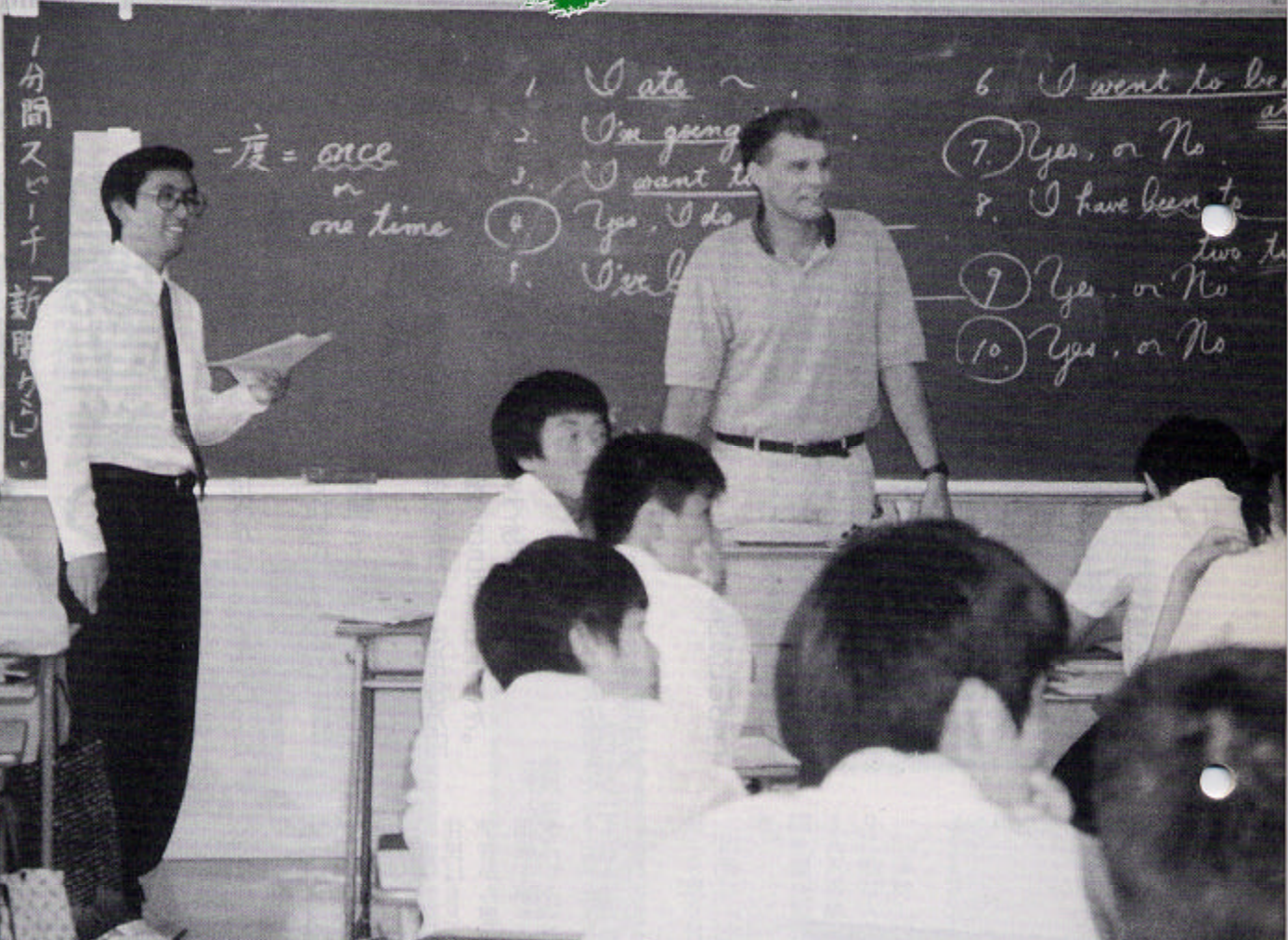


議会だより 入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN



ティーム・ティーチングによる授業風景

ケン・マクウィリアムス(アメリカ オレゴン州ユージン市出身)は
入善町の中学生の英語教育に貢献された。

6月定例会

- ☆ 平成9年度一般会計補正予算 2P~3P
- ☆ 第28回臨時会・議案第30号専決処分第6号 4P~5P
- ☆ 常任委員会レポート 6P
- ☆ 一般質問..... 町政を問う(7議員) 8P
- ☆ 視察記 16P
- ☆ ありやどうなっとるがけ? 18P
- ☆ 傍聴席・各種団体からひとこと 20P

No.101号

1997年7月28日
(平成9年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入膳3,255
☎0765(72)1100 ㊟0765(74)0067

整備

2号潜堤のブロック製作費に 9,410万円

平成9年度一般会計補正予算

地域総合整備資金貸付事業(ふるさと融資事業)

地場産業の振興に活用される

大型テトラポットの製作が急ピッチ

6月定例会は、6月13日から24日までの12日間の会期で開かれた。

一般会計を歳入歳出それぞれ2億3165万4000円を追加し、総額を106億4875万4000円とした。

入善町老人保健医療特別会計は、928万円を追加し、総額を35億2558万円とした。歳出の概要は次のとおりである。

漁業集落の環境の向上と快速で安全な海岸を確保することを目的として、事業を進めてきている。今回の補正で2号潜堤のブロック製作が終わり、平成10年度にブロックを据付けて完成する。

(9512万2000円)

シロウマサイエンス(株)
5億8000万円の設備投資
町から9000万円無利子貸付け

中小企業の活性化と地域の振興につながる、あらゆる分野の事業で、対象は法人の民間事業者、第三セクターも含み無利子で、限度

額の範囲内貸付けする。企業からの申し込みがあり補正した。

(9000万円)

無雪害街づくり整備事業の促進をはかる

町道入善駅国道線の沿線住民はもとより、通勤・通学者から要望の強かった、消雪工事をする。工事内訳

は、さく井1本、配管距離は800mである。

(2511万円)



独自の開発商品で伸びるシロウマサイエンス(株)

さわやか漁村海岸



寄り回り波の被害地もさわやか海岸に変貌した

新屋地区コミュニティ施設

井戸掘削変更などで工事費追加

当初、総工費2億1163万6000円で着工したが、井戸の深さを60mにしており、一般家庭の水脈と競合しないようにするため100mの深井戸に変更した。さらに、子供たちの「夢創造室」の設置など充足し

たため、500万円を追加補正した。
議員から「当初の計画、設計が甘い」との指摘があり、当局の姿勢を追及した。今後とも慎重を期された

おいしい富山米実践事業

共同乾燥施設に補助

「美味しい入善米」づくりに励む入善町では、今回JA入善飯野支所の米麦共同乾燥施設に補助金をつけた。

内容は「水分自動測定装置」を取り付け、良質米づくりを徹底するものである。
総事業費1000万円で、国から%の補助、県と町が%の負担をする。

語学指導員 2学期より 交替

財団法人自治体国際化協会のあつせんによる語学指導員を入善町も受け入れている。

ケン・マクウイリアムス先生は平成7年7月31日赴任され、入善町の3中学校で国際化時代に順応できる生きた英会話の教鞭をとられた。このたび7月29日付を以って帰国されることになり、後任と交替される。2年間、ご苦労様でした。

防災行政無線設置に 積極的助成……飯野地区



飯野地区防災行政無線の完工式

飯野地区の防災行政無線設備（遠隔制御装置・個別受信機757）に補助する。これで先に実施している棚山、上原、新屋と4地区で完工し、残る6地区にも平成12年までに設置されるよう推進する。

(947万8000円)

第23回臨時会ひらく



吉田邸の棟上式

平成8年度

専決予算決まる

4月24日に臨時議会を開催し、2件の請負契約案を議決した。

承認第1号
平成8年度入善町一般会計補正予算として歳入歳出それぞれ203万6000

円を減額し、歳入歳出それぞれ、112億7305万5000円とした。

承認第2号
平成8年度入善町国民健康保険特別会計補正予算として歳入歳出それぞれ5417万4000円を減額し、歳入歳出それぞれ16億8

379万4000円とした。

承認第3号
平成8年度入善町老人保健医療特別会計補正予算として歳入歳出それぞれ1億2012万1000円減額し、歳入歳出それぞれ、31億4039万5000円とした。

新屋地区コミュニティセンター

建設スタート

※新屋地区コミュニティ施設新築工事建築主体工事の請負契約

・工事の場所
入善町新屋地区

・契約の方法
指名競争入札による契約

・契約金額
1億4700万円

・契約の相手方
入善町古黒部2428
広川建設工業株式会社

代表取締役 広川周樹

新屋地区公民館は、5月8日の安全祈願祭より本格工事が進み、9月30日の完成を目指している。
集会場、調理室、児童館として活用できる夢創造室など、新しい住民の学習の場として期待される。

旧吉田邸を移築

舟見城址館に隣接して復元

※吉田家移築保存工事の請負契約

・工事の場所
入善町舟見地内

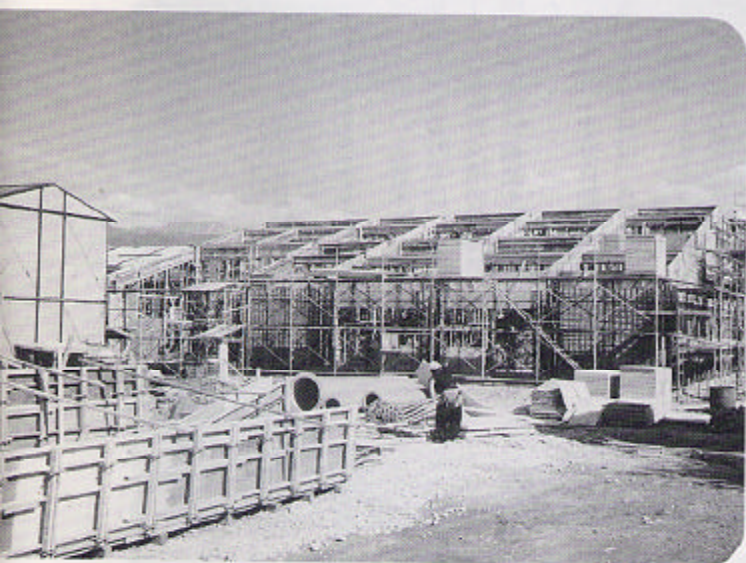
・契約の方法
指名競争入札による契約

・契約金額
7140万円

・契約の相手方
入善町入膳1966
中山建設株式会社

代表取締役 中山康大

吉田家の移築については次のような意見があった。
旧吉田家のある朝日町が寄付の申し出を断っている。
不要不急の支出であり、しかも、移築場所は冬の4カ月は閉めきったままである。せめて、ふれあい温泉の付近に建てれば、年間を通して利用されることも考えられる。



建設盛んな新屋地区コミュニティセンター



専決処分第6号 ひばり野小プール・工事請負契約の変更

議案第30号 入善漁港海岸保全施設・工事請負契約

6月定例会で問題ありとの指摘があった

6月13日開会された定例会で議員全員協議会を含めた質疑の中で、提案された議案のうち、2件について疑義があるとの指摘があった。その旨を報告する。

ひばり野小学校プール建築 事前調査は十分だったか

本年3月議会の最終日に議決された、ひばり野小学校プール新設工事建築主体工事請負契約は9471万円であった。

ところが着工の途中で、地盤が軟弱なため、コンクリートによる補強工事が必要との結論になり5月1日付で専決処分され、6月議会定例会に報告がなされたものである。

増額された金額は753万9000円で1億224万9000円に変更された。このことに對し、全員協議会と常任委員会の中で「事前調査」がなっていないとの厳しい指摘が出された。

当局は、今後このような事態を生じさせないよう努力する旨の表明があり可決された。

議会は、今後とも全ての事業に厳密なチェックが必要との申し合せを行った。

工事予定価格の非公開 見直す考えはないか

漁港海岸保全施設整備工事の設計価格が事前に漏れていた疑いがあるとして、一〇〇条調査委員会設置を求め意見が出された。意見を出した議員が「自

※一〇〇条調査委員会とは

地方自治法第一〇〇条に規程されている。議会が、議案そのものや世論の焦点になっている政治問題等の疑惑について、事実を究明するため設置するものである。
方法として証人喚問や記録の提出を要求できる。正当な理由なく拒むと、罰則規程がある。また、証人の言動に正当な理由がないのに非協力的であれば、司法当局に告発できる。

と、逆に説明を求められた。しかし、「一〇〇条調査委員会と言う」の一点は、

本会議を再開、一〇〇条調査委員会設置を求める動議が出されたため、動議に賛成する議員の起立を求めたところ、入善町議会会議規則第十五条の規程に基づく2名以上の賛成者がなかったため（賛成者なし）動議は否決された。

なお、工事予定価格は、決算時に公開すべきとの意見が出された。

レポート

6月19、20日の両日、総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会が開催され、付託案件を審議した。

特に今回は、入札制度の公正、透明化を求める意見や、町有財産の払い下げは慎重に実施すべきとの意見が出された。

その要旨を報告する。

文教・厚生

公衆衛生の向上に役立つ 公衆浴場改修への補助



払い下げの請願が出された児童館分室

住民の日常生活に欠くことのできない公衆浴場経営の合理化と公衆衛生の向上を図るため、温水缶ボイラーの設置に対する補助は、時宜に適した処置と考える。

語学指導員にもっと町民とのふれあいの場が必要

一年間の滞在延期を希望していた語学指導員が、帰国することになったのは、単に経済的や年齢的問題だけで片付けられないと思わ

れる。

今後は、町が主催する各種行事に本人が希望すれば参加してもらい、町民との交流を深め、町へ来てよかったと思ってもらえるよう配慮されたい。

総務

消雪工事の財源確保に 努力されたい

町道入善駅国道線は、12時間に2000台以上の交通量があり、町消雪装置設置要綱に基づく第一種町道のため、地元負担率を5%としたものである。

通常の地元負担率は10%であり、他地区から誤解を招くことのないよう、十分に配慮されたい。

冬期間の交通渋滞の解消は重要課題であり、消雪工事にかかる歳入の確保等に今後とも努力されたい。

入札は公正、

透明にせよ

第6次さわやか海岸整備事業は、国%、県%の補助

事業で、平成8年度から5カ年計画で進められている。人と自然との共生が求められている今日、海岸の景観、親水性に配慮し、美しい海岸整備に努められたい。なお、入札行為については、公正、透明な執行を求める。

児童館分室の払い下げは適正価格で執行せよ

請願5号、児童館分室の払い下げは、不動産鑑定士などによる鑑定を行い、適正に執行されたい。

次の意見書を国に提出した

- ★郵政事業の民営化に反対する意見書
- ★ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策の完全実施に関する意見書
- ★遺伝子組み換え食品に関する意見書

常任委員会

産業建設

公共施設に 公衆電話は必要

NTTは利用量が少ないとの理由で、勤労青少年ホームの公衆電話を引き上げたため、町独自でピンク電話に切り換え、利用者の利便を図ることは適切な対応である。

米の食味を重点に 町の支援を心がけよ

米の食味を重点とした取り組みを推進し、関係者と

の話し合いを進めながら、町の支援を一層心がけるよう要望する。

中小商工業の活性化と雇用拡大 に役立つ融資制度である

シロウマサイエンス側に長期無利子で貸付ける「ふるさと融資」は、中小商工業が設備投資などの資金として低利に借入れできる制度で、地場産業の活性化と町民の働く場の拡大につながり評価する。

消雪装置の地元負担は軽くせよ

消雪装置の地元負担は、本来は地方財政法に基づいて条理化し、できるだけ地元負担を軽くする方法で実施するよう要望する。

町内公共施設を巡回して

4月22日、議員全員で恒例の町まわりを実施した。今回は平成8年度までに完成した施設を中心に、ふれあい交流プラザ建設予定地や新川広域圏組合ごみ焼却施設の建設現場など主要事業の進捗の説明を受けた。



庄助川の改修はこれでよいのか？

トの川と同じになるのでは……との意見が出た。畔の草や、梅花藻を刈らなくてもよいように……も良いが、自然環境を最大限生かし、維持、管理は町当局が責任を持つ形が望ましい。

今後、町内外の作家に重宝がられる施設として活用を

幹線道路網の整備はほぼ順調に進捗しているが用地交渉など鋭意努力を続けられたい。

下山芸術の森アトリエハウスは投資した金額と効果に疑問が残る。

朝日町の温水プールも同時期に完成予定で、入善町民も利用できるよう待ち望まれる。

また隣接して建設中のごみ焼却施設は、現在80%の進捗率で予定通り平成12年3月の完成、4月からの供用開始を目指している。

見守りたい。舟見揚水機場の完工は地味であるが最近のクリーンヒットであり、高く評価する。

宮沢清掃センターは新川圏の生活廃棄物の終末処理場としてドラマがある。黙々と働く関係者を困らせまいよう、分別のきまりを守って税金の無駄使いを少しでも減らしたいものだ。



フル稼働する
宮沢清掃センター

広報編集特別委員会
副委員長 本多幸男

※固定資産評価審査委員会 委員の選任に同意

小摺戸敏彦氏は6月30日に任期満了となったので、後任の候補者として、次の人を選任することに同意した。

住所 入膳3643番地
道 下 隆(新)
昭和21年9月13日生

一般質問

中央通り線(駅前-上町線)完成

第24回定例会



長年の努力が実った中央通り線

ズバリ直言

町政を問う

7人の議員が登壇

6月議会の一般質問は18日、1日間で行われた。10月の町長・町議同日選挙を間近かにして町民の関心も高く、多くの傍聴者があり、盛況であった。主な内容は次のとおりである。

(注) 一般質問は本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 桃李小学校開校による諸問題について
- 松風団地の環境整備について
- 公共事業費の抑制による町政への影響について
- 福祉と環境問題について
- 宇奈月ダムと出し平ダムの問題点について
- 農業問題について
- 21世紀の地下水保全対策について
- 行政改革のもたらす影響について
- 中央通り線の第2期工事、商業の活性化について
- 児童の健全育成について
- ダイオキシン対策について
- 女性問題について
- 防災計画書、例規集について
- 入札制度について

松風団地の消雪を問う

佐藤 学 英 議員（民政会）

町長

地元負担が確約されれば、緊急度を考え対応する



消雪の要望がでている松風団地

問 昨年の町政懇談会でも要請した地区民の要望である、松風団地内の道路に消雪設置の考えはないか。

町長 ポンプは約1000万円、配管は1m3万円位で、約8000万円かかり、その20%地元負担である。負担を確約してもらえないならば、緊急度を考え対応する。

水道管の汚れを

解消されたい

問 団地内にある公園の管理人の専任と遊具の増設はできないか。

町長 面積も少なく、地元の自主的運営で管理することが望ましい。冬期間用の材料が必要ならば支給したい。又、遊具については調

査し増設の方向で取り組みたい。

問 速度板の設置と水道水の汚れを解消されたい。

町長 速度板の設置については、公安委員会が必要かどうかを判断するもので、町には権限がない。飲料水については、迷惑をかけている。業者と連絡をとりながら対応する。

緑地グラウンドの

構想は

問 旧横山小学校にあるプール、スキー山、緑地グラウンドの今後の構想と維持管理について伺う。

町長 桃李小学校のプールは、平成11年度に計画している。それまで社会体育プールとして使用を考え

ており地元と協議したい。緑地は、前庭とした公園を考えている。スキー山については、取り壊してもグラウンドとして3500㎡位で運動会、野球等の利用は桃李小学校の利用をお願いする。

問 桃李小学校の開校から2カ月余り、子供たちに違和感がないか。

上原教育長 学校も統合前から心配して、学習・遠足等で交流していたので、今のところ問題はない。

問 桃李小学校のプールはドーム型（可動式）で建設できないか。

上原教育長 可動式は、経費60%増で文部省の体育時間からみて、現状で十分だ。ドーム型は考えていない。

物件移転に伴う路線は地元の協力が要

問 横山棚山新線、横山長島線の整備促進を問う。

島瀬建設課長 町政懇談会等で何回も要望、陳情をうけたが、町単では無理なため補助事業で計画したい。今年度に調査測量を考えている。歩道を含め12mの幅員が必要で、地元の協力をお願いする。

国の財政改革と 町政への影響について

広瀬 喜代志 議員（新政会）

町長

適確な情報収集に努め、きめ細く行政に反映させたい



公共事業の縮少がひびくか？国道8号バイパス
（板屋地先）

問 社会保障費の圧縮による町への影響と対応を問う。

町長 医療保険制度改革関連法が、先日可決したことから9月より高齢者も含めた患者の一部負担増が現実になった。町への影響では、医療費全体の縮減につながり町の負担は軽減となる。保育所の入所措置費にかかる制度改正により、均一保育料体系への移行が検討され、さらに高齢者や障害者施設入所措置について抑制される見込みである。措置費の削減や住民負担の増による影響が懸念される。問 公共事業7%減と公共投資基本計画3カ年延長に

よる影響について問う。

町長 国道8号線現道拡幅やバイパス事業予算枠の確保や中央通り線整備事業、幹線道路整備事業などの道路整備事業に加え、今後計画される住宅建替事業などの予算、補助金、計画年次に影響が出るものと思慮するものである。

UR事業に

影響を懸念

問 ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策の2カ年延長に対する影響はないか。問 UR対策事業として、県営かんがい排水事業や県営土地改良総合整備事業、県営一般農道整備事業など

に取り組んでおり、2カ年の期間延長によって事業の進捗や補助金の確保に影響が出るものと思われる。

新幹線は関係機関の動向を見極め対応

問 新幹線の今後の建設状況と見通しを問う。

町長 北陸新幹線は日本海国土軸の高速交通や東海道新幹線の補完的役割りを果たす次代を担う交通輸送機関であり、一日も早い完成を望む。県の段階において新幹線用地幅が決定されていなかったが、このほど決定今年の4月に県、鉄道公団入善町、朝日町、黒部市な

どで組織し、朝日・黒部間用地検討委員会を発足、県・鉄道公団などの動向を見極め、連携を取りながら早期完成に向けて鋭意努力したい。

行財政改革の

推進は

問 町の行財政改革をどのように進めているか。

町長 本町においても「行財政改革推進委員会」を発足させ、事業推進に当たっては優先度、緊急度、投資的効果や組織機構の見直しなど、真剣に検討していきたい。

高齢者にとってバス運行は緊急の課題

九里 郁子 議員（日本共産党）

町長

確保が必要であり、関係課で調査させたい



ダイオキシン汚染を防止しよう！

使用中にすべきでないか。

ごみを出し易い体制を整えることが必要である。分別収集、資源収集は進んでいるか。

町長 広域圏が建設中の新しい炉は、経費増になるが厚生省の新基準に合わせて見直すことになった。

町が補助金を出した簡易焼却炉は1024基ある。プラスチック類は燃やせないごみとして収集日に出すよう指導し定着化したい。補助制度の廃止を検討したい。

低利の融資で

農家支援を

問 地域農業を守るために規模に関係なく利用できる低利の融資制度をつくり、農家支援の考えはないか。

安全性が懸念される「遣伝子組み換え」農産物7品目が輸入され、加工品として市販されている。消費者が選択できるよう表示を義務づける必要があると考え、どう認識しているか。

町長 農業関係機関と十分協議しながら対応したい。国の責任で、表示の義務付けが必要と思う。

問 入善町は、元町以外は公共交通の過疎地域である。

バス運行は緊急の課題であり、町の基本的な交通政策が問われている。どのような検討をしているか。

町長 高齢者の交通手段確保は必要である。関係課で調査させたい。

宇奈月ダムは

ゲートを使用せず

自然流下は

問 宇奈月ダム事業審議委員は排砂の環境への影響を否定できないまま、「排砂ゲート使用が最良の方法」との結論を出した。審議委員会も審議委員である柚木町長も責務を果たしたと言えるか。排砂の影響について環境影響調査をやりなおし再検討せよ。

上水道はいつ頃になるか。

宇奈月ダムの排砂ゲートは開放し、自然流下とすべきたと考えるがどうか。

町長 洪水時に出し平ダムとの連携をとりながら排砂するという専門委員会の結論はやむをえない。自然流下は無理があるのではないか。

簡易焼却炉の

ダイオキシンは

大丈夫か

問 ダイオキシン類の発生源は、ごみ焼却炉がそのほとんどを占めている。

愛媛大学の調査によると簡易・小規模焼却炉の煙から排出されるダイオキシン類は、1㎡当たり大型焼却炉の30倍もある。当面、公共施設や学校の焼却炉は、

巨費を投ずる 宇奈月ダムは住民の利益になるか

本 多 幸 男 議員（町民クラブ）

町長

治水効果が期待されるので理解されたい

この水を人の手で汚してはならない

問 建設省は、国費の無駄遣いと指摘もある13カ所の大規模ダム・堰事業について「中止を含めて見直す」の方針を打ち出した。富山県も早月ダムの計画を投資効果が少ないとして凍結した。

宇奈月ダムは1600億円もかけて、真に住民の利益になると思われるか。審議委員でもある町長の見解を伺いたい。

町長 国は全国的に見直しをかけた事は歓迎したい。宇奈月ダムについては、私も審議委員として、町民や町議会の声を代弁してきたと思っている。

2000年に完成するといふ厳然たる事実もあり、洪水対策に寄与する期待もある。どうしても完遂させなければならぬ仕事であると受け止めている。

問 環境汚染、生態系破壊、漁業被害が発生した場合、どこが責任を負うのか。

町長 電力会社が管理するダムの排砂が原因であれば当然、その原因者たる電力会社に責任がある。宇奈月ダムは建設省管轄であるが、管理上のミスか、自然災害かによって責任を負うべきものと、裁判などの判決に委ねざるを得ないものに分れるのではないか。

高価な水を
誰が買うのか

問 44年8月の福島堤の破堤は人為災害との指摘もある。宇奈月ダムによる流量調整は全体の11%に過ぎないとの考えもあるが、治水計画は万全か。

町長 専門家の意見では洪水防止に貢献することになっており、期待したい。

問 2市3町の上水道として水を買う計画になっているが、地下水を保全して大切に使うべきであって、高価な水を誰が買うのか。

町長 20〜30年間はそのような事態にならないと確信するが、万一に備えて水源を確保しておくことだ。

問 総事業費1600億円、県の負担金698億円などを聞くと、血税のムダ遣いではないか、50億円程かけて堤防や水制を強化すれば立派な洪水対策となる。今からでも遅くない、「最初にダムありき」の考え方を修正するよう提言すべきだ。

町長 流域市町が陳情したダムであり、予定通り、平成12年の完成を待ちたいので理解願いたい。

問 入善町の負担金はどれだけになるのか。

問 入善町公有の地下水観測井を設置してどうか。

町長 町有の観測井はないが、設置しても観測結果は同じであり、今後は民間の井戸をお借りして、拠点を増やしていきたい。

問 地下水保全条例を議員提出議案として出せばどうかとの声もある。大切に保全しながら活用する為に、入善町が先陣を切れないか。

町長 何回も質問提言されている問題でもあり、1市3町でつくっている「地下水利用協議会」で提起しているが意見が一致していない。さらに首長、議員が一堂に会し、協議を重ねたい。どうしても賛同してもらえなければ入善町独自でも制定すべきと考えている。

再質問 ダムを作れば洪水対策は安全であるとの考え方は極めて危険である。今まで以上に堤防の強化、危険箇所を補強に力を注ぐよう建設省に要望されたい。

地下水の保全を強化せよ

公共施設を統廃合すると聞くが

田原 進 議員(民政会)

町長

引き続き存続を要請する

問 行政改革による黒部保健所・法務局黒東出張所などの公共施設の統廃合が論じられているが、住民サービスの低下とならないか。

町長 県立9保健所の中で黒部保健所は最も早く設置され60年の歴史があり、新川地区の保健業務を推進した拠点である。現在県内4広域圏に統合が検討されている。また、富山地方法務局黒東出張所の統合については、平成8年3月の定例会で存続を求める決議が行われている。しかし行政改革の名の下に、富山地方法務局では、統廃合を実施する考えであり、仄聞すると黒部出張所は平成10年2月に、黒東出張所については平成10年8月に統合する計

画と言われている。実施されれば、住民サービスの低下は必至であり、今後も引き続き強く存続を求めていく。

中央通り線第2期

区間に調査費計上

問 中央通り線の第2期区間の着工見通しはいつか。

町長 中央通り線は、総延長850mを2区間に分け昭和63年に着工し、10万円の歳月と事業費約27億円第一期区間570mが先日完成し供用開始となった。

第二区間の上町君島線より国道8号線までの280mは、引続き本年度に2000万円の調査費が計上され来年度より用地買収、物件補償などに取り組み、当初

計画の平成15年度まで17億円の事業費で完成を目指す。問 下水道事業による入善町商工会の保管庫撤去について、町はどう対処されるか。

町長 終末処理場に関わる補償物件の一つで、個人所有のものと思います。現段階では、補償交渉が始まったところであり、本人と商工会でどのような貸借がなされているのかわからないので、今後の交渉で対応する。

商業の活性化

対策について

問 街並み景観と商店街の美化対策が商業の活性化に必要であると思うが、町の

考えを問う。

町長 中央通り線の歩道を無散水消雪装置のついたタイル張にし、無電柱化やグレートの高い街路灯の設置など景観整備を行ったところである。町も商工業振興条例に基づき、商店街照明施設の設置に助成措置を行うことができる。補助額は整備費の30%であり、限度額は200万円である。商店街の活性化には今後も積極的な取り組みが必要であり、商工会の対応が期待される。

中央通り線の第2期工事の着工が待たれる



児童の健全育成の方針を示せ

東 狐 和 議員（町民クラブ）

町長

新しい児童館は入善小近くに建設する

新児童館の建設
促進について

学童保育の
法令化対策は

問 学校週5日制の導入に伴う受皿として、児童の望ましい人間形成のために、仲よく集い・遊び・学べる「子供の館」の建設を促進することのことが、構想を示されたい。

町長 平成10年度頃に入善小学校附近で、住民ニーズを取り入れ、町の実態に即した形で2億円位の施設を造りたい。
また、新屋地区公民館でも一部に児童館的な内容を施したい。

問 学童保育は共働きや、母子、父子家庭の小学生、低学年児童を放課後預かる制度で、「放課後児童健全育成事業」の名で、法的に位置づけられた、少子化対策として子育てに取り組む考えがないか。

町長 学童保育制度が制定されたが、財政的な裏付けが無い。国や県の財政措置を見極めて対応したい。
大沼学校教育課長
学童保育は校下の公民館や公共施設とし、保育時間は放課後より午後5時まで保育料は月1500円程度

という条件でアンケートを実施したところ、現在6校の1〜3年までの学童数877名のうち、鍵っ子が115名おり、39名が学童保育を希望している。

女性問題について

問 富山県の女性は労働分野に長年幅広く進出しているにもかかわらず、女性管理職比率は47位で全国最低である。また、男女賃金格差が40位である。男女差別禁止が打出されて久しいが、その対策はどうか。

町長 男性と女性の性による差別はあってはならぬ。女性の声を町政に反映させ

るため、5名の教育委員の内、2名を女性にした。町の審議委員の女性参加は県下でも高い。賃金格差はある程度時間をかけ、理解のうえで方向性を出すべきだ。また、富山女性総合センターがオープンし、男女共同参画がスピードアップされ、入善町も努力したい。
問 ゴミ焼却場のダイオキシン排出で住民の健康に影響が出ていないか、早急に調査されたい。
上原環境保健課長 緊急に対策に取り組みたい。

学童保育希望者数					
学校名	1年-3年児童数	鍵っ子数	希望者数	割合	
入善小	182名	35名	12名	34%	
上野小	164	23	5	21%	
飯野小	178	32	3	9%	
黒東小	121	4	1	25%	
桃李小	145	13	11	85%	
ひばり野小	87	8	3	37%	
合計	877	115	39	34%	

平成9年5月 入善町教育委員会調べ

出し平ダムの排砂に 町はどう対応するのか

岡 島 功 議員（民政会）

町長

緊急的措置と了解願いたい
被害が出れば町も独自に対応する

町内62社の業者があるがそれぞれA～Dの格付けを行っている。

Aランク 800万円以上
Bランク 500～3,000万円
Cランク 1,500万円以下
Dランク 800万円以下
なお、地元業者の場合、1ランク上げて指名を行っている。

間 ふれあい交流プラザの施設は、朝日町の計画している施設と競合するのではないかと思われるが、見直しの考えはないか。

町長

温水浴、冷水浴等の施設は、朝日町の温水プールとの施設と別であり、競合はないかと思っている。

間 ふれあい交流プラザの入札は、新町長の手で行う事として延期の考えはないか。

平崎企画財政課長

9年度の当初予算の議決をいただいていることもあり、現在、実施設計書の作成を進めている。延期については考えていない。当初の計画通り、事務的に進めたい。

間 出し平ダムの排砂に伴う町の対応は、いかに？

町長

過去5回の排砂が行われているが、試験的、緊急的措置と了解願いたい。

町の対応は、他人まかせのつもりはなく、今後、宇奈月ダム関連の協議機関の中で協議対応を進めたい。海面、内水面、農業団体等は、個別に関電と補償交渉を行っており、町も独自に対応したい。

新防災計画の

浸透をはかれ

間 新しい防災計画の、町民への認識を早急に行うべ

間 出し平ダムの排砂に伴う町の対応は、いかに？

鬼原総務課長

防災会議を開催し、協議のうえ、新防災計画を了解いただいているが、計画だけで終らせる事のないよう努めていきたい。

八月中には防災計画書の配布を完了出来るものと思う。

間 町の例規集の、現実とのずれに対する対応を示さ

鬼原総務課長

例規集が出来てから、二十数年を経て相当の現実とのずれがあるが、年々程度に加除を進めてきたが、まだ相当のずれがあるのは

事実であり、現在、各課で点検調査を進めている。来年度中に調査を完了し整備をしたい。

入札制度の基準

づくりについて

間 入札の方法を示せ？

平崎企画財政課長

現在、金額に応じ三段階で入札を行っている。
1.5億円以下 一般指名競争
5.0億円以下 意向確認
5.0億円以上 制限付一般競争入札で行っている。
なお、緊急時には、一般競争入札で対応したい。

間 指名基準を示せ？

平崎企画財政課長

出し平ダムを視察する議員一行



研修視察記

総務

遊湯館で健康・ふれあい・ゆとりを

総務常任委員会一行5名は、7月1、2、3日、「北海道戸井町」と「札幌芸術の森」を視察した。

人口4、600人、面積53・04㎦の戸井町は、ふるさと創生基金1億円を活用し、町民が長い間待ち望んだ温泉を掘り当て、15億円のふれあい遊湯館を平成6年度に完成、オープンした。

温泉とデイサービスセンターを併設し、健常者と障害者が自然体でふれあう遊

湯館を年間12万人の町民が活用している。

また、高齢者に月一回、(26日)無料入浴券を配布して喜ばれている。また新湯治場が長期滞在型に建ち、ハーブ棟やバーベキュー、レストラン等人気があり、多くの人が利用し、民間委託だが総合的に黒字経営である。

当町は従来漁業一本、昆布生産額が上位を占め、また魚族が多く、ピーク時37億円だったが、26億円に落ち込んだ。そこで温泉を利用して、ウニ、アワビ、クロソイ、コンブの養殖業に力を入れ、生き生きふれあいを市場を開設し、地場産業のPRを行っている。

住民から見た町のあり方

の研究協議を重ねて、町民の福祉の向上と産業の振興を推進して過疎地域の活性化を図る戸井町を入善町も参考にすべきであると一行話し合った。

札幌芸術の森

深緑に囲まれたすばらしい芸術の殿堂が丘陵にそびえ立ち、総事業費150億円、3期15年(一九八四～一九九九年)をかけて施設計画に基づき整備されている。恵まれた自然環境の中で、芸術活動の追求と市民による芸術活動への参加そして札幌独自の芸術文化を国の内外へ発信して注目を集めている。

施設面は総合的芸術3つの機能があり、①工芸関係②野外彫刻・美術・屋内美術館③音楽舞台芸術等とその規模・スケールの大きさに驚くと共に若い人の音楽芸術教育・人材育成に成果を上げていて、若者が定着し人口が増加している事を伺い、さすが札幌170万都市ならではの唯々、感嘆するばかりの視察研修であった。

(総務常任委員会副委員長 東 狐 和)

文教・厚生

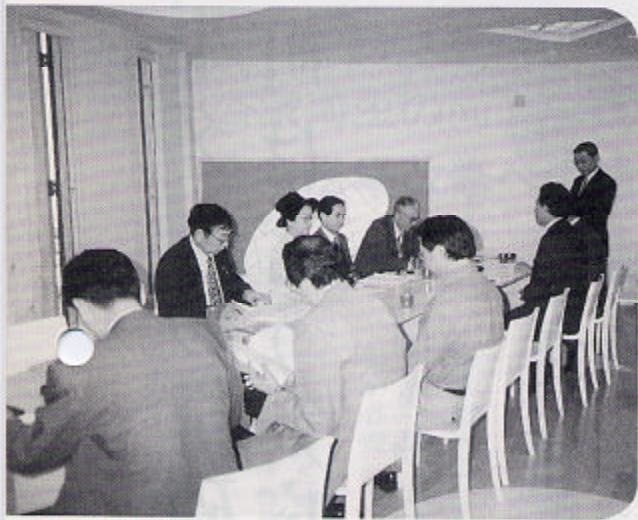
一週間の宿泊学習で子供に変化がおきる

文教厚生常任委員会は5月19日から21日までの3日間の日程で、福島県西郷村と岩手県東和町を視察した。

最初の視察地、西郷村にある全国で二番目に建設された国立那須甲子自然の家を訪ねた。目的は、学校教育の一環として自然の中の生活を通じ子供達にどの

ような影響を与えているか。このことについては、全国の多くの学校は二泊三日くらいの宿泊学習を実施しているのが現状である。実際は子供たちに変化がおきるのは三日目後からであり、共同生活をする場合に、自分は何をしなければならぬか、守るべきことは何かを自然に理解していくからだとのことである。

親からの手紙では、「一週間の宿泊学習から帰ってきたからは町内の人たちから大変成長された、と言われる。挨拶は大きな声でするようになり、お年寄りが重



戸井町のまちづくりを研修



東和町の特養老人施設を視察



「綾町の有機農業」説明を聞く

6月2日から4日にかけて、鹿児島県始良町の「都」自然と共生したまちづくり

産業・建設

い物を持っておられると自分から声をかけ、持ってあげている」など、大変感謝しているとのことである。私たちが思いましたのは子供たちに知識学習のみでなく、自然の中での学習も人間形成に大変必要なことだと、改めて認識をさせられた。

翌日は岩手県東和町を訪れ、文化行政について視察した。この町は、第三セクターで東京の銀座に居酒屋

市計画事業」と宮崎県綾町の「有機農業の取り組み」について、視察してきた。折りしも九州地方は、到着した2日より梅雨入りしたとのこと、3日間とも雨にみまわれた。始良町は、人口4万2000人余の「市」並みの規模を誇る町である。鹿児島市に隣接し、ベッドタウン化が進み、毎年8000人位の人口が増加する町である。このため、

を経営している町である。東和町は、伝統文化にも恵まれ、国、県、町指定合せて73件の文化財がある。変えるべきものは変え、残すものは残すという姿勢であった。我が町においても、文化財は多くはないが保護していくものは保護する、という姿勢が大事だと感じた。

綾町は「有機農業の里」として全国的に知られ、各地から視察が相次いでいる。2255haの照葉樹林が、太古の昔からうっそうと繁っている。この樹林は、昭和40年代に入り、パルプ材として伐採され、裸山となり、川が氾濫し、農作物の生産性が

綾町は「有機農業の里」

長期展望にたった都市基盤整備に取り組んでおり、過去5回にわたる用途区域の見直しを図り、豊かな森林との調和の取れた「田園都市」づくりを目指している。最近、都市行政を計画的に進めていくためには、その地域にだけしかない自然条件や景観をテーマとした町づくりが求められているが、どのような都市づくりや、景観が望ましいかは、地域の風土や歴史によって異なるが、入善町でも散居村特有の集落や営農形態、用水路の水辺形態など、水や緑をテーマとした「うるおい」と「ゆとり」を創生する都市計画づくりが、さけて通れない課題だと、痛感した。

産業建設常任委員会
副委員長 岡島 功

落ち始めたのをきっかけに自然形態保全に取り組み、昭和63年には「有機農業条例」を制定し、「有機農業の町づくり」が本格的にスタートした。今では、各家庭の生ゴミを、1日2回収集、し尿も共に自然に戻し、自然の恵みを育てるというシステムが確立している。ここまで到達するには、住民の間に様々な問題があったとのことであるが、要は、自分たちの自然は自分たちの手で守ろう、育てよう、との思いが町を生きかえらせたと言える。21世紀の未来を見つめ、かけがえのないふるさと、入善をつくるためには、自然形態を守り、育てるといふ、確固たるビジョンの必要性を感じてきた。

みなさんの請願・陳情のゆくえ

今定例会に提出された請願4件・陳情3件の審査結果は、次のとおりである。

- 児童館分室私下げに関する請願書
。不動産鑑定士による適正価格での執行の意見を付して……………採択
- 町道拡幅改良に伴い両側路肩コンクリート擁壁の同時施行について……………採択
- 。住民生活関連の道路改良のため……………採択
- 遣伝子組換え食品の表示と輸入禁止を求める請願書……………採択
- 。消費者が遣伝子組換え食品であることが店舗で確認できる表示等が必要なため……………採択
- 外米を輸入しながらの「押しつけ減反」をやめ、地域農業の再生・発展を求める請願……………採択
- 。色々な特殊事情と政府の政策関連など実際に難しい面があるため……………継続審査
- 「主要地方道入善字奈月線」改良促進について……………採択
- 。住民生活関連の道路改良のため……………採択
- 郵政事業民営化反対に関する陳情……………採択
- 。現在、様々な議論が展開中であり、民営化は時期尚早と判断して……………採択
- 合併に伴う旧青木土地改良区事務所の利用についての陳情……………採択
- 。施設は青木地区の公民館活動の拠点としての役割と地区の象徴ともいえる建物であり……………採択

なっどるがけ？



我が町の転作はどうするがけ

問 米は自由に作り、自由で売ることになったが、なぜ割り当てするがけ。

答 転作は、米余りを防止する調整だが、法的には強制力はない。

問 町は、転作のやり方を検討したいと言っているが、今年も全く同じだ。岩手県の東和町は、転作事務を行わないことになっている。我が町はどうするがけ。

今後は水張り調整田が増えるかも？

問 今までどおり、農協とタイアップして転作は続けたい。

答 水張り調整田や、額縁減反をどうするがけ。

問 現在はカウントしているが、今後は県と相談していきたい。

町の住宅更生マスタープランとは何

問 町の賃貸住宅建替促進計画に基づくもので、平成6年6月に策定され、若者の定着、人口増をはかるための住宅供給と高齢化対策、市街地整備などの方向性を指すものである。

問 町営住宅は、どれだけあり、どうなってるがけ。

答 町営住宅は、現在234戸あり、その内、東町住宅、上原住宅の138戸が老朽化し、建替重点地となっている。

問 建替計画はどいがけ

答 プランでは、平成10年より、基本設計、実施設計を組み、12年、16年に東町住宅、17年、21年に上原住宅の建替が計画されている。



光・水・緑・風・土の恵みを肌で感じて（先進地・富崎県）

なぜ問答

ありやどう

「名水百選」の 選定基準は何

答

環境庁は、昭和60年度、黒部川扇状地湧水群をはじめ、全国で100件を選定した。

選定の条件は次のとおり。
(1)水質・水量、周辺環境(景観)、親水性の観点からみて、保全状況が良好なこと。
(2)地域住民等による保全活動があることを必須条件とし、このほか

(3)規模、(4)故事米歴、(5)希少性、特異性、著名度等が勘案された。

その後、国土庁が平成7年度に全国で107地域を選定した「水の郷」にも選ばれ

た。

地域固有の水をめぐる歴史や生活文化の維持・発展させるとともに、優れた水環境の保全に努め、水を活かしたまちづくりに優れた成果をあげている地域を再発見し、これを広く国民に紹介することを目的としている。



黒部川扇状地湧水群、高瀬水飲み場
(県外からもポリ缶で汲みにくる人あり)

※人権擁護委員の推薦に同意

前田郁子氏は10月14日に任期満了となるので、後任の候補者として、次の人を法務大臣に推薦することに同意した。

住所 小杉223番地

前田 郁子(再)

昭和11年1月25日生

出し平ダム排砂

経過と課題

(編集委員会)

出し平ダムの排砂は、第1回目(平成3年12月)に実施された。46万³排出されたが、

砂と言うよりも、悪臭を放つヘドロが大量に流れ、下流一帯死の川と化したので、大きな社会問題となり補償騒ぎが浮上した。その後、2年間の検討期間を置いて第2回、3回と試験排砂の形で、各々、8.1万³、1.6万³が排出された。この時は、量が少量であり、出水期に大量の水と共に排砂したため、さほど被害が出なかった。ところが、第3回目の試験的排砂直後の平成7年7月、猫又、祖父谷、祖母谷

地先を中心に自然崩落災害が発生した。その量はおよそ33万³と推定される。

この時点で黒部川上流水系の堆積土砂は86万³位と言われている。これらの土砂が出し平ダムに流入すればダムの機能が失われることから、検討委員会は、第4回目を緊急排砂として102万³の過去最大の排砂を実施するに至った。平成7年11月のことである。さらに平成8年6月、第5回目、80万³の緊急排砂を行った。従って、合計5回の排砂で計28万³を排砂ゲートを使ってダムの下流へ放出した

ことになる。

そして、6回目として去る7月9日から12日にかけて、

50万³排砂した。以上、概要を記したが、これだけ大騒動しても、ダム及び上流水系に48万³もの土砂が堆積している計算になり、

その間にもガケ崩れが発生していると言われている。黒部峡谷も木も水も生きている。自然災害から人間を守ることも大切であるが

人間が自然を守ることを忘れてはならない。

世界に誇る黒部峡谷、数少ない富山県の観光地と黒部川扇状地をどうすれば守れるのか。汚れた川底や海底を磨くような気持ちで英知を結集したいものだ。



出し平ダムの排砂



“水の小径..せせらぎと遊歩道

傍聴席からひとこと



泉儀信さん
(上野)

傍聴席に座る機会を得たのは、今回を含めて5回になります。毎回の如く、議場特有の雰囲気は多少の緊張感を覚えながら質問を傍聴していますと、議会を通して我が町の未来像が展望されます。21世紀は地方の時代と言われているが、我が町の未来構図は見当らない。地方と都市との格差是正には高速鉄道網の整備は避けて通れないと思うが、町長答弁の意図は隣接する広域圏との協同歩調の説に苦しい理解になりました。

宇奈月の多目的グムの建設意義は何処に、出し平グムの排砂問題、自然に逆らったダム建設は河川の生態系や沿岸漁業に大きなダメージとなっている。宇奈月町に比べて、我が町は大幅に遅れている下水道整備事業、未来系青写真は構築しているのでしょうか？。文化の町を誇るには、先ず下水道整備事業の工期短縮は必至。また質疑応答の過程で党派に異なる理念の域でしようが傍聴者(町民)にも理解できる議会運営倫理を望みたい。議会は特定の個性派の活動現場ではありません。議員は我が町の牽引者です。毅然として、町の発展に寄与されることを切望する。

私はこれからも機会をみて議会を傍聴し、我が町の動きをこの目で確かめたいと思っています。



鉢物生産に励む若きリーダー寺林さん

私は今、26才ですが、高校卒業後3年間、愛知県に鉢物の研修に行き、平成4年から家で鉢物生産卸売りをしています。富山県に出回っている花の8割は県外産の花で、いかに富山県での生産が少ないかがわかると思います。

入善町施設園芸組合
寺林 寿司さん(小摺戸)

富山県の花物のレベルが低い
なぜかと言うと、富山県の花物のレベルが低いのと、店先で高い花が売れないという事です。同じ商品でも名古屋市場と富山市場へ出すと前者の方が3割近く高

い。これでは良品生産者は伸びるどころか少くなる一方で、良品は中京圏へ、悪い品物は富山県へというルートが出来てしまっています。

生産の8割を
名古屋市場へ出荷

なぜかと言うと、見る目のある人が富山県には少ないのではないかと言うことになると思います。今、シクラメン、ポインセチア、フクシア、グロキシニア、黄花コスモス等の生産をしています。8割が名古屋、2割弱が金沢、残りを富山市場へ出荷しています。その方が儲かるからです。

良花安売りは生産意欲を減退させる

富山県での品評会などは一般価格より安く売ることしか考えていないようです。が、私は違うと思います。少なくとも受賞した品物は、一般価格よりも高く売

るべきだと思います。良いものは良いで売らないと富山県自体の生産意欲を無くすることになります。

編集の窓

☆6月に2つも台風が上陸するとは……異常気象ではなからうか？ エルニーニョの子報も出ており、冷夏と凶作が心配される。

人間が自然を破壊しているのであって、21世紀はダイオキシン対策など環境問題を政治の主題に据えねばならない。

☆最近、町内の土木事業に談合事件が発生し、業界の姿勢が問われている。公共事業の入札に参加する業者自身の意識改革が必要である。

☆編集委員は、互いに知恵を出し合い鋭意努力を重ね、町民のみなさんに少しでも「親しまれ、見やすく、読みやすい議会だより」をモットーに頑張ってきました。どうぞ、みなさんのご感想やご意見をお待ちしております。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 板川清治
- 副委員長 本多幸男
- 委員 岡島 功
- 委員 福沢憲一
- 委員 早川誠一
- 委員 九里郁子